

# ビッグデータと人工知能医療

開催日時 2019年2月13日(水) 10:00~16:40

開催場所 千里ライフサイエンスセンタービル 山村雄一記念ライフホール

コーディネーター

宮田 裕章 (慶應義塾大学医学部 教授)

桜田 一洋 (理化学研究所 副プログラムディレクター)

趣旨：第三次AIブームは、医療にも大きな影響を与えてきました。この1年でも画像診断分野においては、専門家を凌駕する精度を報告する科学論文が多く報告され、GoogleやAppleという異分野の企業もヘルスケア分野に本格的に参集しています。また2017年9月にFDAがモバイルアプリの利用を「治療」として認可したこと、2018年4月に医師不在の自動診断装置を認可したことは、ヘルスケア分野に大きな変革をもたらそうとしています。そして2019年に日本が骨太の方針で掲げるテーマはデータ駆動型社会です。AI、IoTを活用する社会基盤そのものも大きく変わろうとしています。本セミナーでは、ブームにとどまらず大きな社会変革をもたらしつつあるAIという技術を軸に、最先端の到達点だけでなく、今後の展望を皆様と共有します。

## プログラム

10:00-10:20	はじめに 慶應義塾大学医学部 教授	宮田 裕章
10:20-11:00	医師の画像診断を目指した機械学習研究 理化学研究所 チームリーダー	横田 秀夫
11:00-11:40	機械学習・数理科学にもとづく疾患の層別化と予測 理化学研究所 ユニットリーダー	川上 英良
11:40-12:20	人工知能時代の新しい生命医科学 理化学研究所 副プログラムディレクター	桜田 一洋
13:40-14:20	深層学習による画像解析技術の飛躍と医療画像解析への応用 国立情報学研究所 教授	佐藤 真一
14:20-15:00	精神科領域におけるICTやAI技術の活用の試み 慶應義塾大学医学部 専任講師	岸本 泰士郎
15:10-15:50	人工知能技術が拓く医療の未来 株式会社 MICIN 代表取締役(医師)	原 聖吾
15:50-16:30	データ駆動型社会における新しいヘルスケア： AI, IoT 活用の課題と展望 慶應義塾大学医学部 教授	宮田 裕章
16:30-16:40	おわりに 理化学研究所 副プログラムディレクター	桜田 一洋

定員： 200名

参加費： 無料

申込要領： ① 氏名、勤務先、〒所在地、所属、電話番号を明記の上、E-mailでお申し込み下さい。  
② 事務局よりE-mailで参加証を送付しますので、セミナー当日、受付にお渡し下さい。

申込先： 公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団 セミナーM5事務局  
〒560-0082 豊中市新千里東町1-4-2 千里ライフサイエンスセンタービル20階  
E-mail: sng-2019@senri-life.or.jp、TEL: 06-6873-2001、FAX: 06-6873-2002

主催：公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団